

## 津軽すこっぷ三味線とは

農耕や雪かきなどで使用されるスコップと、撥(バチ)代わりのセンヌキを用いて、音楽や三味線の音色に合わせて打楽器のように演奏する手技芸。1985年頃に、青森県五所川原市在住の「館岡 屏風山氏」により命名され、近年では奏者・知名度とも全国的に広まり、「スコップ三味線世界大会」が毎年開催されるなど名物のひとつとして賑わいを見せている。

## 館岡 屏風山 及び すこっぷ三味線の活動



宴会芸の余興として生み出された「すこっぷ三味線」だが、長年にわたる演奏技術向上により、ひとつの技として昇華した。すこっぷ三味線は、見て楽しむのは勿論の事、実はそれよりもスコップ片手にカンカラカン♪とリズムに合わせて叩いた方が何倍も面白い。

一見すると簡単そうに見えるが実は奥が深く、それこそが全国的に奏者を増やす人気のヒミツとなっている。

また、音楽に合わせて手先を動かす事でストレス発散や運動にもなるため、全国の福祉施設や介護施設などでの公演も人気を博している。

## 「津軽すこっぷ三味線快館」について

これまでイベント公演やテレビでしか見る事ができなかった「すこっぷ三味線」を、より近くで臨場感タップリに体験できる常設劇場として、また、五所川原市の新しい観光名所のひとつとしてオープン致しました。

ご家族・ご友人をお誘いの上、究極の宴会芸を存分にお楽しみください。

営業時間 9:00～18:00 / 休館日 毎月第2火曜日  
(冬季)17:00 年末年始(12月29日～1月3日)

入館料無料 (体感ステージショー・展示室は有料となります)

観覧料金：大人 1,000 円 / 小学生 700 円 / 幼児 無料  
(各種割引サービスを用意しておりますのでご利用ください)

ステージ：1日6公演(3月～10月)

演奏者：館岡 屏風山 / 館岡 謙晋 / 他 ゲスト奏者多数

